

1681

八、粗 齧 過 失 將 來 ノ 參 考 ト ナ ル キ 事 項

(一) 粗 齧 過 失

列 兵 衆 軍 紀 ハ 一 般 ニ 良 好 ニ 保 持 セ ラ レ タ ル モ 中
 隊 ニ 直 接 連 絡 セ サ ル 間 接 諜 者 連 絡 者 等 ニ
 ミ テ 隊 名 ヲ 僭 稱 シ 非 違 行 為 ニ ホ ツ ル 事 例 ア リ
 又 華 側 保 安 隊 警 察 及 諜 者 連 絡 者 等 ハ
 剔 扶 檢 索 等 ニ 際 シ 我 ト 同 行 間 ハ 嚴 正 ナ ル モ

スルヤ漸ク完展途上ニシテ浸透不充介且鐵道
 沿線ノ治安地ニシテ含ミ之ノ影響甚カクサル等
 ノ弱點アル同地ニ敵ニ對シ右ノ打撃ハ特ニ酷烈ニシ
 テ敵ノ平原根據地建設ノ企圖ヲ粉碎シ敵中樞
 ラシテ同地ヲ放棄他方面ニ遁竄スルノ止ムキ狀
 態ニ至到ラシメタリ此ノ間我戰果別紙第十

陸軍

一行動終了後ニ於テ我方ニ秘秘裡ニ右剔抉
 搜索等ヲ利用シ該部落ニ對シ非違行為ニ
 出ントスル傾向アリ之等ニ對シテハ行動間ノ監視
 ノミナラス事前事後ニ於テモ監察シアルヲ要ス
 (一) 將來ノ參考トナルヘキ事項

一 同一目標ヲ及復急襲シ敵ノ迴避ヲ封シ得タ
 リ夜間部落ヲ包圍セルモ警戒兵ノ搜索間
 不徹底ナルニヨリ目標ヲ逸シ一旦引揚ケ再度
 急襲シテ取來セル捕獲アリ

二 小數兵力ニ分散便衣化セル謀略的行動ハ敵
 及農民ヲ欺瞞罔シ得テ多ク成功セルモ晝間制
 服ヲ着用セル軍一ノ行動ハ一般ニ失敗セリ
 農民ハ之ヲ遠望シ我方行進方向部落ニ遷
 傳シ敵ヲ躲避セシム

各據點ヨリ聯攻本連シ屢々ナル戦果ヲ收メ
 タリ為ニハ小隊以下各分駐據點迄電又ハ
 鳩ノ連絡施設ヲ必要トス
 兵ニ到ル迄警戒的機眼ヲ涵養スルヲ要ス
 着眼及ハサル爲ニ團線ニ捕捉シ得タル目標幹
 部ヲ農民ト混同逃逸セシメ檢問時敵ノ通
 過ヲ看過シ檢索ニ際シ部落縁端ノ廟又ハ
 堆積高米程中ニ潜伏セル敵ヲ發見シ得サル
 等突嗟ノ間僅チノ著意ヲ缺キタル爲ニ失敗
 例アリ又敵匪数名ヲ遁入セル部落ヲ搜索中
 索本ニ得入引揚ケ下スル際敵ヲ逃走経路ヲ
 考察スル路傍ノ高樹中ニ隠匿セル外銃ヲ発見
 セル例アリ
 敵ノ施設カ常ニ兇軍政ニ一体有機的ニ進展シ

編者大・東京

陸軍

農民ノ貧賤生活面ニ楔入シツアルニ對シ我剔抉
 破摧戰ハ之ニ思想的政治的經濟的施策ヲ
 伴ハス農村ノ貧賤生活ヲ左右スル作用ハナシ
 且剔抉破摧ニ膚接スルキ華側ノ政治工作ハ貪
 汚腐敗ノ現象ヲ露呈ニアリテ農民ニ嫌惡セ
 ラレシ結果我戰果ヲ抹殺シ又ツテ敵ニ乘スヘキ
 餘地ヲ興ハルノ虞アリ

華側ノ政治力薄弱ト貧汚腐敗ハ敵ノエ進
 展ノ據地タリ之ニ對スル方策アルヲ要ス

敵幹部ハ常ニ相當武力ノ掩護下ニアリテ我小
 隊單位ノ行動ハ多分ニ制肘セラレテ一面ニ分駐
 セシクハ小隊以下ニ至ル迄數リモ五十名以上ノ兵
 カヲ自在ニ駆使用伴セシムル要アリ本兵力ハ
 華側保安隊等ニテ可ナルモ常時附隨セシムル

0691

如クニ相当地訓練ヲ行ヒ且不時ニ備ハラシムルヲ
要ス

駐豊潤縣新軍屯鎮縣保安隊ハ大隊長ヨ
リ積極的ニ協力シ豊王寮ノ地ニ作戰ニ多大ノ
便益ヲ得タリ

ク小數ノ偵謀兵カヲ分駐シムルニ同地ニ又ニ協力スル
兵團部隊アルカ又ハ該地ニ獨立行動ニ得ル葦
側武装團體ノ相当地カヲ携行セシムルヲ要ス
敵ノ地上武カアリ又ハ相当地ニ敵組織ノ存在スル
地域ニアツテハ威力偵察又ハ肅正警戒備行軍等
相当地ノ示威行動ヲ伴ヒ得サル由農村偵謀ハ進
涉シ難シ韓城鎮派遣分隊ハ爲之困難ヲ
感シタリ

(了)